

本郷生涯学習センター前の交差点改良工事



梅本 秀明 議員
うめもと ひろみ

問 横断歩道設置のために、完成をしている車道、歩道、水路、学習センター駐車をなぜ取り壊さなければならなかったのか。

答 市道駅前愛宕線は平成14年度に旧本郷町が県事業である都市計画道路、本郷三太刀線整備事業と整合を図るため着手し、旧本郷駅前から、本郷

ているのか。予算のバラマキではなく、一極集中の事業予算を中心市街地特に三原駅前活性化整備事業に組むべきと思うがどうか。

酒造付近までの350m、幅員14mを21年6月に完成したものである。計画段階において、公安当局との調整が成熟をしていなかったために、今回、県公安委員会交通規制課と協議をした結果、横断歩道設置には、右折レーンを設けることと条件提示があり、既設構造物の位置を変更する必要が生じたためである。

問 本郷駅舎前の横断歩道が暗くて危険である、照明器具の設置を。

答 再度現地調査をして、今後検討をする。

問 学習センター北側に一時停止の規制を。

答 今後、県公安委員会と本市で検討をしていく。

財政と街づくり

問 街づくりには核となるものが必要である。本市はどの分野に核を求め

ているのか。特定の分野を核とするのではなく、各々の分野に核を設け、全ての分野にバランス良く取り組むことによって、市民満足を高めていく必要がある、現在の最大の課題は景気対策である。三原駅前のにぎわい、人の交流が、商工振興の活性化の大きなポイントであり、いかにそれを具体化していくかを、模索している。

問 長引く不況で景気後退、それに加え人口減少、税収減という状況の中で、財源の確保のために、売却可能な市有財産の処分についての考えは。

答 現在市が所有する財産は、227万坪、内訳は行政財産99万坪、普通財産128万坪（売却可能財産4万6千坪）である。景気の動向をにらみながら、有効活用の観点から、財政的にもこれを適切に処分していく必要がある。

「瀬戸内 海の道構想」その後は



新元 昭 議員
しんもと あきら

問 県の動きを的確にとらえ、他地域に優越した交通の利便性を活かし、他府県をカバールする広い地域と連携交流し地域資源を活用した着地型観光メニューの展開を視野に基本的な方針を定めるとある。

「トライアスロンさぎしま大会」へのより効率的な行政的支援や仏通寺のトイレの早期改修等、実態を踏まえた積極的な取り組みが「海の道構想」の具現につながると思うが状況を問う。

答 県では、「海の道プロジェクトチーム」が設置され、構想策定の基本姿勢について検討し、19事業を「海の道にかかる実証事業」として定め取り組んでいる。

本市では、佐木島を海の道構想につながる貴重な地域資源の一つとして、一層の磨きをかけ、PRを行うっていくこととして

いる。

県が実施をする「瀬戸内サイクリング・ロード」「瀬戸内エコツアーリズム」「船と航路とみなと賑わいづくり」などの実証事業については、本市としても積極的に参画し、本市の竜王山・筆影山や仏通寺など、この「海の道構想」を観光振興を飛躍させる一つの契機として捉え、積極的かつ主体的な対応を図っていく。

「重要港湾尾道糸崎港」の今後は

問 国土交通省による重点港湾選定の見直しが行われ、重要港湾尾道糸崎港はその選定から漏れたことについて心配している。市民目線では重要港湾名称の有る無しによるイメージダウンは大きいと考えるが、状況によっては観光振興施設として利用するにしても、本市に

おける産業振興の活性化は不可欠である。今後とも積極的な活性化策の取り組みが必要では。

答 尾道糸崎港が、今回選定されなかった理由としては、計画貨物取扱量に対する計画達成率が、選定基準の目安となった60%に対して、約28%と著しく低いことなどが考えられる。

今後の港湾整備に及ぼす影響については、現在事業中のものについては継続して事業ができることとしており、今後の港湾整備に影響は無いと考えている。

今後とも本市の港湾振興を図るため、産業振興や企業誘致に努めるとともに、港湾整備の促進にしても、県に対し引き続き要望していく。



交差点改良



筆影山より貝野埋立・糸崎港を望む

大型団地建設時には、集中処理方式の見直しを



したにし かつひこ
下西 勝彦 議員

問 沼田東町のダイヤハイツでは、汚水処理施設の更新問題が、大きな課題となっている。

答 処理施設は、一日も止めることはできない。今後、公共下水が見込めない地域の団地は、集中処理方式を許可せず、全戸、合併処理槽として配管網は敷設しない。いわゆる、オンサイトの処理方式にすべきだ。

問 都市計画法では、20ヘクタール以上の団地造成の際は、集中処理施設を建設することと規定されていたが、平成12年に改正され、開発申請者が合併浄化槽を選択することが、可能になった。

答 集中処理方式の抱える問題点を考えると、今後は合併浄化槽が主流になると考えている。申請者と適切な協議指導を行っていく。

問 ダイヤハイツ住民組

しかし現在、トイレが設置されていない。利用者に大変不便だ。

答 第一公園は1950平方メートル、海への階段を持つ親水公園で、本年8月に、市が管理を受託している。

トイレ設置の計画はあるが、現在は未設置だ。県は、今後の利用者の需要状況を見ながら設置するの方針だが、一日も早く設置されるよう、要望活動が続ける。

豪雨災害対策について



なかにし まさお
中西 正信 議員

問 ①7月14日沼田川が氾濫危険水位に達し、周辺住民に避難勧告が出た。沼田川の中州に堆積土、また雑木が生え、水の流

れの障害になっている。除去と堤防整備を県に強く要請すべきと思うが。

答 ②市道堀・亀津線（本郷麓地区）の冠水対策は、移动式排水ポンプ等購入し地元管理で行うべきと思うが。

問 ③がけ地近接危険住宅移転事業を取り組む考えは。

答 ①沼田川管理者である県の整備方針を聞くのと、本年度は7月に発生の豪雨災害箇所が多く、復旧予算と兼ね合いを図りながら実施する。堤

り、実態を踏まえ、総合的な検討が必要であると判断している。

③危険区域の住宅移転を行う目的としており、合併前の旧本郷町で実施、平成11年まで年1軒程度合併協議にも上げられておらず、改めて研究課題とする。

防整備は計画の三原大橋から船木亀津橋付近、延長15・3kmに対し、進捗率61%、旧船木大橋下流は今後の整備区間と聞いている。

②本郷麓地区の内水排除用の移动式ポンプ配備については、課題が多くあ

問 ①県全体、本市の年度不登校の推移の状況は。

答 ②不登校回避に向けての対応と今後の取り組みは。

問 ①県の不登校児童、生徒は全体的に緩やかに減少している。



みつぎ第1公園



除去を求められる沼田川の堆積土

木原道路の建設計画について



しらし ひとし
白須 均 議員

問 尾道バイパスと三原バイパスを結ぶ自動車専用道路(木原道路)・直結道路建設事業の建設計画はどのようなものになっているのか、また実施に向けての取り組みは。

答 木原道路の事業進捗状況については、現在、下木原地区の道路用地は取得済みだが、他区間については、測量、地質調査などの現地調査が完了している状況である。木原道路の整備促進については、国の概算要望時や事あるごとに国、県などへ早急な整備促進を強く要望している。木原道路の実現は、本市としても最大課題と認識している。

総工事費の予算は、具体的な増客構想をどのように考えているか。

答 各施設的设计、工事の発注や施工管理は、国土交通省と市

がおのおの責任を持って行っている。

管理運営方式は、基本計画策定委員会から指定管理方式が妥当との答申があり、管理運営主体の選定方法を検討している。

業費は、地域振興施設周辺整備等の詳細計画を行っているところで、新市建設計画において5億円を計上している。

婚活をするカップリングパーティができる場所の提供、観光や商工振興になる見本市、売れる農産物の販売など、特徴ある魅力的な道の駅の整備を進めていきたい。

道の駅について

問 道の駅に関する建設計画の主体は。また、道の駅の運営方式と赤字になった場合の責任者は。

一義的には指定管理者が負い、市の負担は指定管理契約条項以上は発生しないと考えている。

道の駅の事



道の駅予定地からの眺望

本郷工業団地の新聞報道について問う



もりしげ かずひろ
森重 一裕 議員

問 「広島臨空開発の落日」と、8月31日の新聞に大見出しが出た。

空港を核にした町の活性化に夢を託し努力してきた者には、信じられない記事であった。

記事には、「県が本郷町に予定した工業団地は中止、河川改修は休止となった。道路や上下水道整備も含めて臨空タウン内で中止、休止となったのは計30事業に上る。」と出ている。

から、実現に向けて働きかけたいと思っている。

②工業団地は、企業の進出のめどがついた時点で、造成工事に着手する。

関連施設整備についても、企業進出のめどがついた時点で進めていく。工業用水についても、現在企業の立地訪問や造成計画が見えていない状況の中で、引き続き実施することとは難しい。立地が決定すれば、工業用水工事も施工するというところで、県の企業局にも確認している。

①本郷工業団地に企業進出の話があったが、最近の状況は。また、市は県にどのような働きかけをしたのか。

②記事には30事業が中止、休止とあるが、市はどこまで把握しているか。

答 ①企業進出の話はあったが、最近の状況については把握していない。本郷工業団地については、引き続き県と連携しな



本郷工業団地予定地